

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	南浜病院スーパー救急病棟 北区 島見町4540番地 市街化調整区域 病院, 2016年4月 予定 27,789.33 m ² 1,151.82 m ² 3,279.91 m ² 地上3F S造 実施設計段階評価 2015年4月16日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{51.7}{43.1} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目名	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.5		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	4.5
			更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.3		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	LR1.1	4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

1.バリアフリー対応、将来の維持管理更新に配慮した構造計画。 2.耐震性重要度係数I=1.25としている。 4.断熱材の適材適所の使用。太陽光パネルを設置している。 5.節水器具の使用。リサイクル資材を使用している。 7.敷地内に地域住民が利用できる広場を計画している。また、学校のシンボルであった「はちの巣校舎」のイメージを継承している。
--

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	南浜病院スーパー救急病棟	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市北区	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	80人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年4月 予定	評価の実施日	2015年4月16日
敷地面積	27,789 m ²	作成者	緑川正利
建築面積	1,152 m ²	確認日	
延床面積	3,280 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	94%
③上記+②以外の	94%
④上記+	94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	3.2
温熱環境	3.6
光・視環境	2.3
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	3.7
耐久性	3.3
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.2
地域環境	2.5
周辺環境	3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 病床数285床をもつ既存病院の、救急病棟の増築である。精神科病院ということで、特殊な配慮が求められる。既存建築群が残る敷地内では限定された配置しかできない。機能優先の計画の中で、いかに既存病棟と連携し、全室個室等、患者さんや病院スタッフに快適な空間を提供するか腐心した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 明るく、健康的な室内環境を実現するために、中庭(光庭)をもつコの字プランを採用。主要居室・廊下等はできるだけ自然採光・換気を採用。化学汚染物質含有建材は極力使用しない。音や臭いについても、必要な場所に十分な性能	Q2 サービス性能 患者さんだけでなく、病院スタッフの、施設の管理のしやすさ、使いやすさが求められる。段差なし・手すりを設置などのバリアフリーはもちろんのこと、階高や室面積・天井高に余裕を設け、明快的なゾーニングとすることで、居住性を高め	Q3 室外環境(敷地内) 既存建物を活かしながら、無駄な解体や伐採等を減らすよう配慮した。周辺環境への影響を少なくするため、なるべくコンパクトなボリュームの建物を目指し、3階建てに抑えた。既存建物の外観意匠や色彩をなるべく継承し、一体
LR1 エネルギー 高効率機器の採用	LR2 資源・マテリアル 節水便器の設置・自動水栓の設置などの計画としている。	LR3 敷地外環境 利用者のほとんどが自動車でのアクセスのため、できるだけ駐車台数を取れるように計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される